

## 経営発達支援計画・事業評価委員会の報告について

経営発達支援計画に係る「事業評価委員会」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮し、各委員から書面で意見聴取を行った。概要は以下の通り。

### 記

■委員	委員長	翠田 章男 氏（富山商工会議所 副会頭）
	副委員長	金岡 省吾 氏（富山大学地域連携推進機構 教授）
	委員	本江 誠 氏（富山県商工労働部 商業まちづくり課長）
	委員	高橋 洋 氏（富山市商工労働部 商業労政課長）
	委員	布目 大剛 氏（（一社）富山県中小企業診断協会 会長）
	委員	堀田 齊 氏（北陸税理士会富山支部 支部長）
	委員	森田 達也 氏（株日本政策金融公庫富山支店 国民生活事業統轄）
	委員	竹澤 敏光 氏（（公財）富山県新世紀産業機構 中小企業支援センター長）
	オブザーバー	鈴木 悟 氏（中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局 産業課長）

- 議題 (1)令和元年度／第1期経営発達支援計画の最終年度の実施状況について  
(2)令和2年度／伴走型小規模事業者支援推進事業について

### ■主な意見

- ・実施状況は実績数値などからも的確に計画が実施されていると感じる。今後はコロナ禍の影響も受けられると思われるので、IT（ZOOM等の遠隔ソフト）を活用しながら、遠隔会議やオンライン支援に取り組んで欲しい。
- ・第2期経営発達支援計画（令和2～6年度）は事業毎の成果をより厳格に求められると思う。コロナ禍の今、計画の遂行は困難を極めると思うが、これまで以上に小規模事業者に寄り添った支援を行い、各事業所の持続的発展に繋げてもらいたい。
- ・新たな需要の開拓に寄与する事業として、小規模事業者がメディアを活用して情報発信できる事業（合同プレス発表会、共同広告事業）は非常に有意義で評価する。
- ・第2期経営発達支援計画（令和2～6年度）は新型コロナウイルス感染症の影響が見通せない中での計画となるので、オンラインソフトやITを活用した小規模事業者の経営支援に力を入れて欲しい。
- ・後継者不在による廃業も大きな問題。第3者も含めた事業承継の仕組みづくりも大切だと考える。また、地域活性化のためにもセミナーを通じた事業承継支援先の掘り起こしや廃業予定者の把握、各支援機関と連携したマッチング等を含めた支援体制の構築等を積極的に推進して欲しい。
- ・合同プレス発表会は、マスコミとタイアップした取組みで商品のPR効果も高く評価できる。多くの小規模事業者が参加できるように、このようなマスコミを活用した事業に積極的に取り組んで欲しい。

以上